

2024 子どもだけのまちをつくろう！第4回実行委員会(12.22)



通貨のデザイン投票！

決定した通貨の単位(筆記体でlight)をどんなデザインの紙幣にするかを決定するデザイン投票を実施。集まったデザインシートを見ながら、どのデザイナーに紙幣デザインをしてもらうかを決定しました。

開業届は関所通過できるか！？

自分でやってみたい企画を“開業届”に記入して関所に持っていくところからスタート。イメージを言葉で表現するって意外と難しいものです。作りながら、メンバー同士で意見をすり合わせていきます。完成したら、関所にてスタッフがチェック。飲食店希望者には、衛生面で問題がなさそうか、保健所のルールとして、その食材が使えるか？市民会館の設備で調理が可能か？など様々な角度から一緒に考えていきます。

OKをもらった企画は、メニュー表と材料表をもらい、今度は必要な材料や量を具体的に書きだしていく流れ。なんとなくイメージはできていても、実際に書いてみると抜け漏れに気が付くこともあります。また、資本金として各企画に2000lightが入金された通帳が配付され、予算内で企画を実現することも求められます。また事前に商品を準備する企画では、今回OKをもらわないと次回材料が納品されません。限られた時間の中で、メンバー同士で話し合いながら、集中した1時間でした。



課ミーティング

今年度の子どもだけのまち実行委員は自分のやりたい企画とは別に〇〇課に所属してまちづくりを行っています。(職業・お店サポート課や、まちのルール課、まちのデザイン課、あいさつ・コミュニケーション向上課、まちの企画・イベント課など)今回は、昨年度の子どもだけのまちの当日参加者のアンケートを読みながら、実際に参加した人の声を知り、自分たちの課でまちのためにどんなことができそうか？を話し合いました。まちの全体像がわかりにくいという意見があるから、大きな地図を描いたらどうか？、みんなが挨拶したくなる新しいあいさつを考えよう！、各企画や店舗にアンケートを取るのはどう？など各課で話し合いが盛り上がりました。この話し合いのサポートをしているのが、学生サポーターの皆さん。小学生～大学生までのサポーターは、経験者も多く、どのように子どもたちの想いや意見を引き出していか？毎回試行錯誤しながら成長しています。話すのが苦手な実行委員向けに、折り紙バックンチョをつくるなど、頼もしい学生サポーターに支えられています。